

# 令和7年度 第2回 のぼりとミーティング 開催レポート



令和8年3月5日(木) 10:00~12:00 @多摩区役所601会議室



29名が  
参加しました!

## プロジェクトの目的

- ① 「活動団体の『困りごと・やりたいこと』を共有・把握すること」
- ② 「地域資源を把握し、新たなつながり、新たな取組が生まれる環境・きっかけづくり」
- ③ 「支え合いの地域づくりの体制・しくみを形成」

## 当日のプログラム

### オリエンテーション

## のぼりとミーティングの取組について

### 第1部

## 活動見学会・地ヶ算の報告

### 第2部

## グループ意見交換会

### 第3部

## お知らせ・集合写真撮影

### 第4部

## 自由に親睦会



## 本プロジェクトのこれまでの背景や、今後の方向性について事務局より説明を行いました。

登戸地区では「地域活動団体数は多いが横のつながりがない」という意見が多かったことから、地域活動団体が情報交換を行う場として交流会を開催し、**地域包括ケアシステムへの理解を深め、地域の関係づくりを活性化**することを目的に、平成30年に本プロジェクトが始動しました。

現在は登戸地区の活動団体の困り事・心配事や登戸にある地域資源について共有することで、新たなつながりや取組が生まれる環境・きっかけをつくることを目的に、菅地区の「地ケアつながりプロジェクト～Team SUGE～」が展開する**“地ケ算”**という手法を用いて取組を推進していきます。

また、本プロジェクトは交流会のほかにも、のぼりとミーティングに参加する各団体の活動を知る機会をより多く設けるため**“活動見学会”**や**“活動紹介ハンドブックの作成”**、**“メーリング配信”**の取組も並行して行っております。

これらの取組をきっかけに、のぼりとミーティングは、新たなつながりや取組が生まれる**「ハブ（ネットワークの結節点）」**のような働きをする場となることを想定しております。

### “地ケ算”とは？

今ある取組に、地域の資源をちょっとプラスアルファ・掛け算することで、地域活動が豊かになる取組  
※「地域包括ケアシステム」と「かけ算」を組み合わせて生まれた造語



### のぼりとミーティングの最終的な役割とは？



## 第1部：活動見学会・地ケ算の報告

実際に団体の活動場所へ出向き現地ツアーをする**“活動見学会”**と、これまでに事務局に報告いただいた**“地ケ算”**の取組の報告をしました。

### ■活動見学会

Vol.06 まちの保健室（多摩区社会福祉協議会、たまふれあいグループ、登戸地域包括支援センター）

Vol.07 子育てサロン ひよっこ（登戸地区民生委員児童委員協議会）

### ■地ケ算

地ケ算No.3 まちの保健室（多摩区社会福祉協議会×たまふれあいグループ×登戸地域包括支援センター）

地ケ算No.4 総合的な学習の時間を使った「薬剤師のお仕事紹介」（登戸小学校×クワイエット薬局）



各取組の詳細については「のぼりとミーティング」で検索♪

前回のグループ意見交換会では「強み」×「強み」の地ケ算を考えました。今回は団体が抱える「困り事」や「悩み事」に対して、解決のヒントとなる、他の団体の「強み」を掛け合わせた地ケ算を考えるというテーマでグループ意見交換会を行いました。

“困り事解決シート”に貼り出した各団体の「困り事」を解決すべく、各団体の強みと困り事をまとめた“強み・困り事一覧シート”を手持ち資料として手元で見ながら、他の団体の「強み」と掛け合わせたアイデアシート“地ケ算シート”に書き込み、全体で共有・意見交換をしながら、アイデアを深めていきました。

### ■グループ意見交換会の流れ

#### ラウンド1

自己紹介で、ご自身の団体の困り事を紹介しましょう

「お名前」「所属」「困り事（一人1つずつ）」を紹介し合いました。

#### ラウンド2

困りごとを解決すべく、新たな地ケ算を考えましょう

A0用紙の“困り事解決シート”に貼り出した「困り事」に対して、手元にある“強み・困り事一覧シート”に記載しているグループ内の各団体の「強み」と掛け合わせて解決できそうなアイデアを“地ケ算シート”に書き出しました。

#### ラウンド3

考えた地ケ算をグループ内で発表・意見交換をし内容を深めましょう

【ラウンド2】で記入した“地ケ算シート”を、“困り事解決シート”の該当の「困り事」の近くに貼り出し、考えたアイデアをグループ内で共有しました。

#### ラウンド4

出てきた地ケ算の中から1番の「いいね！」を決めましょう

【ラウンド3】で共有した地ケ算アイデアの中から、「いいね！」と思ったアイデアにシールを貼り、グループ内で盛り上がったアイデアなどの整理をしました。

#### ラウンド5

グループの中で出てきた地ケ算を発表しましょう！

各グループの代表者から1番シールが集まった地ケ算のアイデアを中心に、全体に向けて発表しました。

#### ▼困り事解決シート（A0）

困り事解決シート

1 グループメンバー：

「お名前」「所属」の記入欄	「困り事」の記入欄
「お名前」「所属」の記入欄	「困り事」の記入欄
「お名前」「所属」の記入欄	「困り事」の記入欄
「お名前」「所属」の記入欄	「困り事」の記入欄
「お名前」「所属」の記入欄	「困り事」の記入欄

#### ▼地ケ算シート（A5）

地ケ算シート

ご所属：  
お名前：

★どんな困り事

①自分（団体）の強みを生かして  
※なければ他団体の強みを活かして

×

かけあわせて・・・

②こんなことができるかも/こんなアイデアはどうか

各グループの詳細は次ページ以降へ！

ここからは、第2部の各グループで出したアイデアについて紹介します。

グループ1

グループ1では、「イベント等の広報に苦労している」「男性高齢者や一人暮らしの方に事業の情報が届きにくい」「子育てサロン ひよっこの人手不足」など、**担い手不足**や**活動周知の難しさ**などの困り事が共有されていました。

◆ グループで考えた地ケ算アイデア

登戸地域包括支援センター利用者へのチラシ配り等による地域情報の周知

地域活動や外に出ない男性高齢者が多い…

困り事 たまふれあいグループ 男性高齢者や一人暮らしの方に情報が届きにくい × 強み 登戸地域包括支援センター 担当に男性・一人暮らしの高齢利用者がいる

大学生ボランティアサークルの協力による担い手不足の解消

困り事 登戸地区民生委員児童委員協議会 子育てサロン ひよっこの担い手不足 × 強み たまふれあいグループ 大学生ボランティアサークルとのつながり

グループメンバー（団体名）

たまふれあいグループ 登戸地区民生委員児童委員協議会  
登戸地域包括支援センター 多摩エコスタイルプロジェクト



グループ2

グループ2では、「自分たちの活動やイベントの周知がうまくできない」「どんな団体さんにつながることでどんな取り組みができるのか模索中」など、**活動周知・広報**や、**地域との接点**についての困り事が共有されていました。

◆ グループで考えた地ケ算アイデア

SNSの活用方法などの広報に関するレクチャーや広報のコラボ

困り事 たまふれあいグループ 活動やイベントの周知がうまくできない × 強み NAGOMI～まちの縁側～ メンバーに“多摩区PRアンバサダー”がいる

“地域包括戦隊ケレンジャー”を活用したワークショップ等の開催

手芸部や読書部など！

困り事 療育ねっとわーく川崎 Cafe POP! どんな団体さんとながればよいか模索中 × 強み NAGOMI～まちの縁側～ メンバーに“地域包括戦隊ケレンジャー”がいる



グループメンバー（団体名）

たまふれあいグループ NAGOMI～まちの縁側～  
療育ねっとわーく川崎 Cafe POP! きたのば

## 第2部:グループ意見交換会 各グループのまとめ

### グループ3

グループ3では、「ポッチャや福祉学習のスタッフの不足・育成が追いついてない」「イベントの広報に困っている」などの**人手不足**や**広報**のほかに、**障害福祉**に関する困り事や話題が共有されました。また、これまでに実施した**地ケ算の取り組みの成果**も共有されていました。

#### ◆ グループで考えた地ケ算アイデア

##### ポッチャを使った交流会で福祉学習

ポッチャはどんな人でもできるスポーツ!

これをきっかけにどんな人でも活躍できる場ができるといいよね

川崎市立登戸小学校

困り事

福祉学習のスタッフの不足・育成が追いついていない

NPO法人いっぽいっぽ

×

強み

生徒や保護者に呼びかけができる

強み

就労支援スタッフからも呼びかけができる

たまふれあいグループ

#### 一緒にイベント広報用チラシの作成

困り事

イベントの広報に困っている

KFJ多摩なのはな保育園

×

強み

たまふれ! でチラシの作成や郵送を依頼ができる

たまふれあいグループ

グループメンバー (団体名)

たまふれあいグループ  
川崎市立登戸小学校  
川崎市認知症コールセンター サポートほっと

KFJ多摩なのはな保育園  
NPO法人いっぽいっぽ



### グループ4

グループ4では、「どんな団体さんにつながることでどんな取り組みができるのか模索中」「地域包括支援センターを知ってもらいたい」「まちの保健室の周知範囲を広げたい」など、**地域との接点**や**活動の周知方法**に関する困り事が共有されていました。

#### ◆ グループで考えた地ケ算アイデア

##### Cafe POP!の立地の良さを活用したのぼりとミーティングメンバーの活動周知

困り事

活動やイベントの周知がうまくできない

たまふれあいグループ・登戸地域包括支援センター

×

強み

Cafe POP!内で広報ブースが作れる可能性がある

療育ねっとわーく川崎 Cafe POP!

出張版  
NAGOMI~まちの縁側~  
@Cafe POP!  
もできるかも!

#### まちの保健室@Cafe POP! with登戸地域包括支援センター

困り事

新たな「移動型まちの保健室」の場所を探している

たまふれあいグループ

×

強み

Cafe POP!のスペース活用できる可能性がある

療育ねっとわーく川崎 Cafe POP!

若い人を対象にした「まちの保健室」もやってみたい!

子ども用のフリーバザーに、大人用のものも寄付があるので取扱いに困っている

まちの保健室と一緒にフリーバザーもやってみたい!



グループメンバー (団体名)

たまふれあいグループ  
療育ねっとわーく川崎 Cafe POP!

NAGOMI~まちの縁側~  
登戸地域包括支援センター

## 第2部:グループ意見交換会 各グループのまとめ

### グループ5

グループ5では、「地域との交流を促せるスペースを活用しきれていない」「イベントの周知がうまくできない・SNSも盛り上がらない」「地域包括支援センターを知ってもらいたい」などの**所有スペースの活用方法**や**イベントや活動の広報**についての困り事が共有されていました。

#### ◆ グループで考えた地ヶ算アイデア

##### 登戸新町グループホームの貸し出しスペースを活用した介護相談会

区社協の「チャレボラ」や  
HARMONIOUSのイベントでも  
活用したい！

**困り事** たまふれあいグループ（登戸新町グループホーム）  
**地域との交流を促せるスペースを活用しきれていない** × **強み** 登戸地域包括支援センター  
**介護に関する相談をやっている**

##### ボランティア情報誌「たまばら」を活用したイベント周知

**困り事** Clinic WIZのぼりと・ゆうえん小児科  
**イベントの広報に困っている** × **強み** 多摩区社会福祉協議会  
**ボランティア情報誌「たまばら」にイベント情報を掲載している**

のりぼとミーティングの  
SNSアカウントも創って  
発信するのよさそう！

グループメンバー（団体名）

たまふれあいグループ  
多摩区社会福祉協議会  
clinic WIZのぼりと・ゆうえん小児科

KFJ多摩なのはな保育園  
登戸地域包括支援センター



### グループ6

グループ6では、「イベント等の参加者が少なく広報に苦勞している」「多世代交流をしたいが子育て世代との接点が少ない」などの**イベントや活動の広報**や**人手不足**について困り事が共有されていました。

#### ◆ グループで考えた地ヶ算アイデア

##### SCによる地域の個別ケースと関わることができる力を活かしたイベント等の周知

リサイクルCaféに  
参加した人にも周知できます！

**困り事** 多摩エコスタイルプロジェクト  
**イベント等の広報に苦勞している** × **強み** たまふれあいグループ  
**困り事** 川崎市認知症コールセンター サポートほっと  
**利用者が地域情報をあまり知らない** × **生活支援コーディネーターとして地域の方に個別で関われる**

多摩エコスタイルプロジェクトでも  
「地域がつながるゴミ拾い」をやっている。  
色々な人が参加しているので  
情報交流のきっかけに！

グループメンバー（団体名）

たまふれあいグループ  
多摩エコスタイルプロジェクト

多摩区商店街連合会  
川崎市認知症コールセンターサポートほっと



最後に事務局からお知らせをして、集合写真を撮影し閉会となりました。閉会後も親睦会でたくさんの方が会場に残り、他の団体の方との名刺交換やグループワークでの話の続きをするなどの交流が見られました。



参加された方の感想・意見 ※開催後アンケートより

前回の第1回のほりとミーティングからより深く、具体的な話をする事ができた。

何回か参加させていただいて登戸での取組についてわかってくる事があった。

たくさんのアイデアやコラボ案が出てきて大変有意義な時間でした。

交流会やグループワークをやっただけにせず、そのあともしっかり追ってほしい。それを他の人にわかるようにしてほしい。

皆さん広報を課題とする方が多かった。メーリング配信だけではどうしても、閉鎖的な発信になりがちなので、メンバーの地ケ算の取り組みが手軽に見れるオープンなSNSがあるといいなと思った。

自身の団体の課題に対してどうしたら解決ができるのか、各団体の熱意が伝わり、刺激になった。各所地域課題に取り組みたい。

地域の方々との関わりを持つきっかけ作りが出来る、有意義な会だと思いました。

今回のグループワークでたくさん地ケ算アイデアが出ましたが、ここからは誰がそのアイデアを実現するかが大事だと思う。

いただいた御感想・御意見は今後の取組の参考にさせていただきます！  
皆様、御参加ありがとうございました！

## 地ケアつながりプロジェクト～のぼりとミーティング～ 令和7年度第2回開催レポート



### お問い合わせ先

多摩区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）  
地域ケア推進課／地域支援課 登戸地区担当  
TEL 044-935-3228  
FAX 044-935-3276  
Mail 71keasui@city.kawasaki.jp



のぼりとミーティング  
HPはこちらから！

